
他の多の世界

コクボ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

他の多の世界

【Nコード】

N6249Z

【作者名】

コクポ

【あらすじ】

主人公「海藤 蓮^{かいとう れん}」は、自分の運命をあまり良くは思っていない。そんなある日、人生の転機を迎える出来事があった。蓮が出会ったのは、『悪魔や吸血鬼や魔法使いや天使や不死身の人間？等々』自分と違う種族の生物を見て、「海藤 蓮」は、新たな世界を知る。だが、世界を知ることには蓮の体には、何らかの変化が・・・そして、世界のはてで見る世界の景色とは。

世界の変貌を賭けた複雑怪奇なミステリアス小説開幕！！

始まりのページ

「ねえ、聞いた？また例のあいつが、奇妙なこと言ったらしいよ。」

「あつ！知ってる！ヤバイよね、あいつ。」

「おい、知ってるか？あいつまた・・・」

「知ってる知ってる、まただろ。」

夕暮れで紅く染まった教室、目が覚めたらそこにいた。

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

また寝過ごしたか、なんて言わなくていいか。

まるで、世界の終わりを告げるように紅くて、綺麗な夕焼け、そんなことを考えながら教室を360度見渡すと、窓側の一番前の席、女子が座っていた。

その女子は、皆からあいつと呼ばれてる。俺は、その女子と小学校から今の間まで、ずっと同じクラスだった。

中学に入って、あいつが言った一言であいつは、あいつになった。

今は先生以外の人は、あいつの名前を呼ばない。いや、あいつの両親と先生以外か。

「・・・帰らないの？」

けっして、振り返った訳でもなく、ただ、前を向いたままあいつは俺に言った。

とても小さな声だったけど、清んだ教室に、ほどよく反響して、俺の耳にその声は届いた。

「・・・・・・」

「・・・無視？それとも、寝たふり？起きてることは、知ってるんだけど。」

別にあいつのことが嫌いな訳じゃない。ましては、嫌われてるからそれに乗じて無視してる訳でもない。

ただ、あいつとは、いや、人とは関わり難いだけ。会話するのが、苦手なだけ。

「・・・あなたっていつも一人なのね。」

「いつもじゃない。今は、だ。」

「・・・そう。」

「お前こそ、いつも一人だろ。」

「私は、いいの。一人のほうがいいから・・・」

「そうかよ。」

静かな教室で二人の声だけが、虚しく反響する。日は、沈みかけも
う、辺りは、暗くなってきた。

・・・そろそろ帰るかな、静かな教室に雑音をたてたくないから、
静かに立ち、鞆を持って教室を出た。

出るときに振り返って教室の中を見渡したけど、あいつは、真っ直
ぐ前を向きながら、口を小さく開けたり、閉じたりしていた。

一人言か。

教室の扉を閉めて、玄関に近い中央階段からじゃなく、教室から近
いほうの階段から降りて玄関に向かった。

死するコト

教室近くの階段から降りたことに特に意味は無いが、何となく暗くなつていく校内を眼で感じたいと思った。

玄関に着くまで、それほど時間はかからなかったが、辺りは完全に暗くなっていた。

俺の住んでいるところは、県内でも端のほうで、そこそこ家はある方だが、外灯が少ない。だから、日が沈むと真っ暗闇に近いくらい暗くなる。

真っ暗な夜道を一人で歩いていると、目の前に黒いフードを被った奴が現れた。

暗くてよく見えないが、何か持ってる。

・・・鎌？嘘だろ！？

俺が、まばたきをした一瞬、黒いフードの奴は、俺の前から居なくなっていた。

幻覚？・・・勘弁してくれよ。

そう思つて眼を擦ろうと思つたら、両腕に違和感が・・・
ポトンッと何かが落ちる音が近くで聞こえた。

下を見ると、腕が二つ、関節より少し下あたりの大きさ、道に転がっていた。

．．．．．声が出ない。凄く激痛で、叫びたくなる痛みなのに、声が出ない。

痛みは、腕だけじゃ無かった。腹にも、もの凄い激痛が．．．

．．．．．俺、死ぬのかな？

ドシャと上半身がアスファルトに叩きつけられた。

痛い、痛い、寒い、死ってこんな感じなのかよ．．．死んでも良い
って思ってたけど、いざとなったら、怖くて辛い。今、思い返せば、
まだしたいこと沢山あったのに．．．．．もう、ダメだ。意識が、
遠く．．．．．

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6249z/>

他の多の世界

2011年12月20日22時47分発行